

タイトル	呼吸リハビリテーション～理論と実践～ 2011
内容	<p>近年の慢性閉塞性呼吸器疾患(COPD)患者の増加や脳卒中患者の呼吸機能の低下等により、急性期から慢性期まで呼吸リハビリテーションの重要性が高まるとともに様々な場面で適応が増えております。今回の勉強会では、呼吸生理学の理論を基礎から最新情報まで学び、聴診、打診、呼吸介助手技の実践的なテクニックを実技にて学び、明日からでもすぐに実践できる技術を得る機会を設けました。</p>

タイトル	生活に活かすための動作分析とアプローチ ～より実践的な視点から～2011
内容	<p>病院においても在宅においてもリハビリテーションの目的は、対象者の「生活」をまもることですが、ひとつの機能低下、動作能力などに注目してアプローチをしがちです。しかし、在宅においては、対象者が在宅に帰った時点で、その「生活」ははじまるため、その中ですぐに活かすことのできる的確なアプローチをすることが重要と考えます。そこで、セラピストとしては、「生活」で行われている動作・姿勢の分析に基づいて、そのアプローチの内容や方法を検討する必要があります。今回は、「生活に即した視点における動作・姿勢分析」と「すぐに生活に活かせるアプローチ」とは何か、具体的な内容・方法の例を実技を中心に学ぶ機会を設けました。</p>

タイトル	地域における小児リハビリテーション入門2011
内容	<p>障がいをもちながら、地域で生活するお子様は年々増えており、専門病院以外でも小児のリハビリテーションを受け持つセラピストも多く見え、また、病院でのリハビリを受けられる機会が減ったお子様も多数みえます。このたび、小児のリハビリテーションの基本から、よりよい在宅生活のための制度の理解、お母様がリハビリテーションに何を望んでいるのかなど、学んで頂く機会を設けました。</p>

タイトル	股関節・膝関節の観血的治療の基礎知識2010
内容	<p>股関節・膝関節の手術様式の講義、映像、手術デモンストレーション 等</p> <p>臨床で非常によく遭遇する疾患の一つに、股・膝の整形外科疾患があります。今回は、それら疾患の病態、観血的治療の適応について講義して頂きます。講義のなかでは、手術や関節鏡の映像や手術デモンストレーションを間近で見ることによって、手術様式について理解を深め、治療に役立てていただけることと思います。整形外科分野の初心者や、改めて知識を整理したいと考えている方に最適と考えております。</p>

タイトル	訪問リハビリテーション入門
内容	<p>近年の保険制度の改正に伴い、訪問リハビリテーションの需要はますます高まっています。訪問リハビリテーションについて学ぶ機会、意見交換をする機会は少しずつ増えてきておりますが、訪問リハビリテーションの管理運営、評価、リスク管理などの方法論については確立しているとはいえません。そこで、訪問リハビリテーションに関ってみえる方、これから訪問リハビリテーションに関わられる方等を対象に、介護保険制度が始まる前より、訪問看護ステーションからの訪問リハビリテーションに携わってきた弊社の経験を活かして、訪問リハビリテーションを行うにあたって持っていて欲しい、知識、考え方を学べる機会を設けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 在宅医療とは？～ドクターの立場からコメディカルスタッフに担って欲しいこと～</li> <li>● 訪問におけるアセスメントのあり方</li> <li>● 訪問リハビリテーションを取り巻く諸制度</li> <li>● 訪問での評価とアプローチ</li> <li>● リスク管理</li> <li>● 訪問リハスタッフのためのマナー</li> <li>● 事例報告 等</li> </ul>

タイトル	呼吸リハビリテーション入門2010
内容	<p>慢性閉塞性呼吸器疾患(COPD)患者の増加や脳卒中患者の呼吸機能の低下等により、急性期から慢性期まで呼吸リハビリテーションの重要性が高まるとともに様々な場面で適応が増えております。今回の勉強会では、呼吸リハ対象疾患の知識と明日からでもすぐに使える技術を学んでいただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一日目 14:30～17:00 慢性呼吸器疾患のリハビリテーション講義</li> <li>※ 8月7日(土)18:00ごろより懇親会を予定しております、会費5000円程度</li> <li>● 二日目 10:00～12:30 急性呼吸器疾患のリハビリテーション講義</li> <li>13:30～17:00 呼吸介助手技などの実技</li> </ul> <p>ベッドサイド・ICUでの急性期呼吸器疾患の基礎知識とその対応と実技(呼吸介助・聴診・打診・触察等、小グループに分かれての実技がございます。</p>

タイトル	小児呼吸リハビリテーション入門2009
内容	<p>重症身体障害児(者)に関わる上で呼吸の状態を知ることは必要不可欠です。しかしながら、体の大きさの違いや脊柱・胸郭の変形などにより、聴診や呼吸介助などの手技を行う際に成人との違いに戸惑うこともあるかと思えます。今回は、呼吸に関する基礎知識から、小児(脳性麻痺、筋疾患)における呼吸障害の考え方・捉え方、呼吸介助等のポイントを実技を交えながら、学ぶ機会を設けました。</p>

タイトル	訪問リハビリテーション入門2009
内容	<p>近年の保険制度の改正に伴い、訪問リハビリテーションの需要はますます高まるものと思われまます。しかし、訪問リハビリテーションの管理運営、評価、リスク管理などは確立しているとはいえ、また訪問リハビリテーションについて学ぶ機会、意見交換をする機会は多くありません。そこで、介護保険制度が始まる前より、訪問看護ステーションからの訪問リハビリテーションを担ってきた弊社の経験をいかし、現在訪問リハビリテーションに関ってみえる方、これから訪問リハビリテーションに関わられる方等を対象とした「訪問リハビリテーション入門」を開催するに至りました。</p>

タイトル	呼吸リハビリテーション入門2009
内容	<p>慢性閉塞性呼吸器疾患(COPD)患者の増加や脳卒中患者の呼吸機能の低下等により、急性期から慢性期まで呼吸リハビリテーションの重要性が高まるとともに様々な場面で適応が増えております。今回の勉強会では、呼吸リハ対象疾患の知識と明日からでもすぐに使える技術を学んでいただけます。</p> <p>●1日目(7/19)          ベッドサイド・ICUでの急性期呼吸器疾患の基礎知識とその対応と実技          (呼吸介助・聴診・打診・触察等、小グループに分かれての実技がございます。          動きやすい服装で御参加下さい)          17:30ごろより懇親会を予定しております、会費 5000 円程度</p> <p>●2日目(7/20)          慢性期呼吸器疾患の基礎知識とその対応について</p>

タイトル	褥瘡の基礎知識、トランスファー・ポジショニングテクニック2009
内容	<p>褥瘡ができてしまうと、リハビリを進める上で障害因子となり、ADL自立の妨げにもつながります。褥瘡を作らないためには、ご家族や介護職員の協力が不可欠であり、適切なアドバイスが必要になります。今回は、セラピストが正しい知識を持ち、適切なアドバイスをするための知識・技術を学べる講習会を設けました。</p>

タイトル	股関節・膝関節における観血的治療の基礎知識2009
内容	<p>臨床で非常によく遭遇する疾患の一つに、股・膝の整形外科疾患があります。今回は、それら疾患の病態、観血的治療の適応について講義して頂きます。講義のなかでは、手術や関節鏡の映像を間近で見ることによって、手術様式について理解を深め、治療に役立てていただけることと思います。整形外科分野の初心者や、改めて知識を整理したいと考えている方に最適と考えております。</p>

タイトル	脊椎疾患の観血的治療の基礎知識2008
内容	<p>臨床で非常によく遭遇する疾患の一つに、脊椎の整形外科疾患があります。今回は、それら疾患の病態、観血的治療の適応について講義して頂きます。疾患の基礎知識から手術の術式等学んでいただくことで、その後のリハビリに役立てていただければと思います。整形外科分野の初心者や、改めて知識を整理したいと考えている方に最適と考えております。</p>

タイトル	脳性麻痺のリハビリテーション入門2008
内容	<p>小児専門病院ではなく一般病院勤務であっても、小児のリハビリの依頼が来ることは少なからずあるかと思えます。しかし、小児のリハビリに関わる機会や経験が少なく、不安を抱えている方も多くみえるかと思えます。今回は、中でも関わる機会が多いであろう脳性麻痺のリハビリについて基礎から学んでいただく機会を設けました。</p>

タイトル	呼吸リハビリテーション入門2008
内容	<p>1日目(7/20)          ベッドサイド・ICUでの呼吸器疾患に対する対応と実技          (呼吸介助・聴診・打診・触察等、小グループに分かれての実技がございます、動きやすい服装で御参加下さい)          17:30頃より懇親会を予定しております、会費5000円程度</p> <p>2日目(7/21)          維持期における呼吸疾患への対応</p>

タイトル	(株)ジェネラス主催勉強会 訪問リハビリテーション入門2008
内容	<p>知らなければ始まらない訪問リハビリテーションに関わる諸制度(法律・保険制度など)          知らなきゃいけない最新交通に関わる知識          療法士もできなければいけないクレームの対応・処理          初めての方でもわかる在宅における障害の捉え方          誰もが悩む評価としてみるべきこと          安全にリハビリテーションするためのリスク管理          実例から考えるディスカッション等</p> <p>基調講演 テーマ「在宅でPT・OTに求めること」          聖徳会 小笠原内科 院長 小笠原文雄先生</p>

タイトル	(株)ジェネラス主催勉強会 褥創とポジショニング2008
内容	<p>「講義」:          褥創発生のメカニズム、OHスケールによる総合的褥創予防対策          -PTの皆様をお願いしたいこと-</p> <p>「実技」:          褥創の評価とアプローチ、起居からトランスファー・ポジショニングのテクニック等</p>

タイトル	介護職員のための嚥下の基礎知識2008
内容	<p>講義「嚥下の基礎知識」          日常の食事介助の場面で、むせ込んでしまう方は数多くお見えになると思います。むせこまないように、刻み食にしたり、とろみをつけたりと対応されていると思います。それは、正しい対応でしょうか？ 摂食をする際にどこに問題があるかで対応が変わってきます。今回は、食事介助に直接関わる機会の多い介護職員を対象に、嚥下についての基礎知識を学んでいただける機会を設けました。どういった仕組みで摂食嚥下を行っているか理解していただき、日ごろの業務に役立てていただければ幸いです。</p>

タイトル	(株)ジェネラス主催 観血的治療の基礎知識
内容	<p>臨床で非常によく遭遇する疾患の一つに、脊柱・膝の整形外科疾患があります。今回は、それら疾患の病態、観血的治療の適応について講義して頂きます。講義のなかでは、手術や関節鏡の映像や、モデルを使っての模擬手術を間近で見ることによって、手術様式について理解を深め、治療に役立てていただけることと思います。整形外科分野の初心者や、改めて知識を整理したいと考えている方に最適と考えております。</p>

タイトル	(株)ジェネラス主催 小児リハビリテーション入門
内容	<p>「小児における障害の捉え方」          「評価の進め方」「障害別治療の考え方」など</p>

タイトル	(株)ジェネラス主催 嚥下リハビリテーション入門
内容	<p>講義：嚥下の基本～嚥下障害により引き起こされる症状(誤嚥性肺炎など)          実技：嚥下障害の評価など</p> <p>18:00より懇親会を予定しております。会費5000円程度</p>

タイトル	平成19年度 呼吸リハビリテーション入門
内容	<p>1日目(7/15)            ベッドサイド・ICUでの呼吸器疾患に対する対応と実技            (呼吸介助・聴診・打診・触察等、小グループに分かれての実技がございます、動きやすい服装で御参加下さい)            17:30より懇親会を予定しております、会費4000円程度</p> <p>2日目(7/16)            維持期における呼吸疾患への対応</p>

タイトル	高次脳障害リハビリテーション入門
内容	<p>患者様の社会復帰を妨げる重大な原因の一つに高次脳障害があります。しかし高次脳障害の概念の把握やそれらのリハアプローチに関しては、様々な評価があり臨床に出るとなかなか系統立てて学ぶ機会が少ないのが現状です。今回、京都大学の種村留美先生をお迎えして①高次脳障害の概念②高次脳障害へのリハアプローチを中心にご講義いただく予定です。</p>

タイトル	<p>痛み学入門            ～痛みのお話:メカニズムから治療まで～</p>
内容	<p>不快な感覚性・情動性の体験であり、それには組織損傷を伴うものと、そのような損傷があるように表現されるものがある。これは国際疼痛学会の「痛み」の定義です。一見、スッキリしない定義ですが、組織の損傷を検出できないような痛みも痛みであるということです。一般的には「痛み」と聞けば、からだのどこかが傷ついた時に現われる痛みが頭に浮かびます。これは急性痛。症状としての痛みです。しかし、最近の研究から、症候というよりは新たに発生した病気として取り扱われるべき痛みがあることがわかってきています。痛みの持続が痛覚神経系に可塑的な歪みをもたらして、傷が治っているのにも拘わらず痛みが生じるものです。この痛みが慢性痛(慢性痛症と呼称)。従来考えられてきた慢性痛とは大違いです。このことは痛みの概念の大変革をもたらしました。慢性痛症については、未だその機序の一端が基礎的研究で明らかになった段階で、診断・治療については課題が山積しています。今回は2回にわたって「痛み」についての講義をしていきます。第1回目は、基礎的な話として、急性痛のメカニズムから始めて、痛みの可塑性、そして慢性痛症について、第2回目は、慢性痛症の治療に焦点をあてて、学際的アプローチについてなどをお話しします。</p>

タイトル	『THE 関節可動域』
内容	<p>① 関節可動域制限の発生機序と病態            ② IDストレッチングとDINICの理論と適応            ③ マッケンジー法を用いた脊柱可動域の拡大            ④ 筋膜リリース法の理論と適応</p>

タイトル	統計学入門—多変量解析 重回帰分析と多重ロジスティック回帰分析を中心に
内容	<p>1) 多変量解析とは何か 単変量解析と何が違うのか、なぜ多変量解析が必要なのか</p> <p>2) 重回帰分析 回帰分析とは、重回帰分析で得られる解析出力の内容とその意味、重回帰分析の前提条件、重回帰分析の実例</p> <p>3) 多重ロジスティック回帰分析 ロジスティック回帰分析とは、多重ロジスティック回帰分析で得られる解析出力の内容とその意味、多重ロジスティック回帰分析の前提条件、多重ロジスティック回帰分析の実例</p> <p>4) 多変量解析を使用する際の注意点</p>

タイトル	観血的治療の基礎知識とリハビリテーション ＜ 整形外科疾患講習会 ＞
内容	椎間板ヘルニア・変形性膝関節症・変形性股関節症の手術とそれら疾患の保存療法について

タイトル	呼吸リハビリテーション入門アドバンスコース
内容	呼吸介助・聴診・体位排痰法などの実技が中心となります。

タイトル	生活習慣病を基礎とした循環器・血管系リハビリテーション入門
内容	循環器・血管系リハビリテーションにおける理学療法評価とリスク管理について、高脂血症と糖尿病由来の虚血性心疾患・生活習慣病由来の血管系疾患(高血圧・動脈硬化)の評価と管理手法を中心に講義。疾患は、高脂血症と糖尿病由来の虚血性心疾患・生活習慣病由来の血管系疾患(高血圧・動脈硬化)などを中心に講義する。

タイトル	コメディカルのための統計学入門その1
内容	①情報の収集(調査の企画・実施)②情報解析(統計学的検定法の紹介)などです。

タイトル	実践！小児のための摂食・嚥下リハビリテーション
内容	①摂食・嚥下のメカニズムと病態・問題点にかんする講義 …… 2時間 ②ビデオによるケース検討・相談 …… 1.5時間

タイトル	コメディカルのための血液データの意味と読み方
内容	代表的な血液データ、Hba1c、血糖、総蛋白、クレアチニン、総コレステロール、CRPetc.などについての機序や異常の意味について

タイトル	平成18年度 呼吸リハビリテーション入門
内容	呼吸リハ対象疾患の病態(COPD・気管支喘息・間質性肺炎・気管支拡張症・肺結核後遺症などの病態の概要) 呼吸リハ実技演習(呼吸介助と呼吸筋ストレッチ、聴診法の基礎を中心として)(17:30より懇親会を予定しております、会費4000円程度)



タイトル	小児のための呼吸リハビリテーション入門
内容	呼吸機能とその病態に関する講義1.5時間、呼吸リハ実技1時間

タイトル	第5回楽音地域リハ勉強会
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 19:00～19:30 講師:中野 麻里子(作業療法士) 運動器の機能向上プログラムアセスメント票の読み方講座</li> <li>2. 19:30～19:45 楽音における体力測定とプチ集団体操の取り組みの紹介</li> <li>3. 19:45～20:30 座談会 楽音で提供している調理師自慢のおやつを楽しみながら色々お話をしましょう!! O(≥▽≤) O</li> </ol>

タイトル	第1回暁音地域リハ勉強会
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「運動に関するリスクマネジメント」 19:00～19:30 疾患別の運動時の注意点、運動強度の設定の仕方 運動中止基準などを解り易くお話しします。</li> <li>2. 座談会&amp;見学会 19:30～20:30 暁音で提供している調理師自慢の料理を食べながら 色々お話をしましょう!! O(≥▽≤)O また、暁音に初めて見える方は色々見て体験できる 様、スタッフがご説明いたします。</li> </ol>

タイトル	コメディカルのための統計学入門
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>①情報の収集(調査の企画・実施)</li> <li>②情報解析(統計学的検定法の紹介)</li> <li>③解析結果の解釈(疫学的推論)などです。</li> </ol>

タイトル	心音地域リハ勉強会
内容	<p>1. 勉強会 19:00～20:00</p> <p>2. 懇親会 20:00～21:00          デイサービス心音で提供されるおやつを試食会          当社の調理師が心をこめて調理したおやつをお楽しみ下さい!!</p> <p>※ リフレクソロジー無料体験          当日は心音(ここね)2Fリフレクソジールーム樂のスタッフによる、          リフレクソロジーの無料体験を17時より開催いたします。          勉強会後の懇親時間にもご利用できますのでお気軽にご参加下さい。</p>

タイトル	第4回地域リハ勉強会
内容	<p>1. 「寝たきりの利用者様へのリハビリテーション」 19:00～20:00          ※ 呼吸機能・嚥下機能の面から・・・担当:張本浩平(理学療法士)          ※ 関節可動域・末梢循環の面から・・・担当:近藤将人(理学療法士)</p> <p>2. 座談会 20:00～21:00          楽音で提供している調理師自慢の食事を試食しながら色々お話をしましょう!!</p>

タイトル	呼吸リハビリテーション入門
内容	<p>1日目・・・呼吸リハ対象疾患の病態(COPD・気管支喘息・間質性肺炎・気管支拡張症・肺結核後遺症などの病態の概要)</p> <p>2日目・・・呼吸リハ実技演習(呼吸介助と呼吸筋ストレッチ、聴診法の基礎を中心として)</p> <p>注意点:聴診を行うため聴診器をお持ちください。</p>

タイトル	嚥下リハビリテーション入門・・・誤嚥性肺炎へのアプローチ
内容	<p>嚥下リハビリテーション入門・・・嚥下障害により引き起こされる症状(誤嚥性肺炎についての原因・病態・治療)とその予防方法・発見・リハビリテーションについて講義と実技(聴診のやり方とポジショニング・排痰法など)</p> <p>注意点:聴診を行うため聴診器をお持ちください。</p>

タイトル	第3回地域リハ勉強会
内容	<p>1. 「基本の呼吸リハビリテーション」 19:00～20:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 呼吸リハビリテーションの基本(解剖・手技)</li> <li>※ 在宅で行う呼吸リハ(適応とチェックポイント)</li> <li>※ 家族ができること</li> </ul> <p>4. 座談会 20:00～21:00      楽音で提供している調理師自慢の食事を試食しながら色々お話をしましょう!!</p>

タイトル	コメディカルのための血液データの意味と読み方
内容	<p>代表的な血液データ(HbA1c、血糖、総蛋白、クレアチニン、総コレステロール、CRPetc.)で、糖尿病と炎症に関わるものについて、何を表しているのか？数値の意味は？生体とどのように関わっているのか？どうしたら増減するのか？などの生理・病態を基礎から解説致します。</p>

タイトル	心音地域リハ勉強会 ～転倒の原因と対策 なぜ人は転ぶのか？～
内容	<p>1. 「転倒の原因と対策、訪問リハでの転倒リスク管理」 19:00～19:30      担当: 近藤将人(理学療法士)</p> <p>2. 「デイサービス心音での転倒予防の取り組み」 19:30～20:00      担当: 梅田典宏(理学療法士)</p> <p>3. 座談会 20:00～20:30      デイサービス心音で提供される、お食事の試食会      当社の調理師が心をこめて調理した料理をお楽しみ下さい！！</p>

タイトル	第2回地域リハ勉強会
内容	<p>1. 「関節はなぜ硬くなるのか」 19:00～19:40      姿勢によって変わる筋肉の緊張について。固縮・痙縮・拘縮・強直の違いの説明など。      担当: 近藤将人(理学療法士)</p> <p>2. 「訪問における関節拘縮患者に対するリハの1例」 19:50～20:10      担当: 梅田典宏(理学療法士)</p> <p>3. 「デイサービスと訪問リハビリによってQOLが改善した      高度関節可動域制限をともなった脊髄損傷患者の1例」20:10～20:30      担当: 張本浩平(理学療法士)</p> <p>4. 座談会 20:30～21:00      楽音で提供している調理師自慢のおやつを試食しながら色々お話をしましょう!!</p>

タイトル	嚥下リハビリテーション入門
内容	嚥下障害により引き起こされる症状(誤嚥性肺炎についての原因・病態・治療)とその予防方法・発見・リハビリテーションについて

タイトル	第1回地域リハビリ勉強会
内容	<p>1. 誤嚥の予防とそのリハビリ 19:00～19:40  高齢者のほとんどは加齢による嚥下能力の低下が認められます、さらに脳卒中や神経難病など様々な理由で口からものが食べられない方が多くいらっしゃいます。今回は、嚥下の力の低下とそのリハビリについて基礎知識を理学療法士の張本と症例報告を理学療法士の杉野がお話させていただきます。</p> <p>2. 症例検討 19:45～20:15  実際の訪問リハビリがどのように、行われているのかを症例を通してお話させていただきます。当社のデイサービスと訪問リハビリを行っている利用者様のケースについて皆様のご意見もいただけると幸いです。理学療法士の梅田が担当いたします。</p> <p>3. 試食会＋座談会 20:20～21:00  当社のデイサービス楽音の調理師が作りました、お食事をお楽しみ下さい。デイサービス楽音では専門の調理師が旬の食材を利用者様の食べやすいようにアレンジをして、心を込めて作らせて頂いております。これを機会に座談会が他事業所・他職種との連携及び情報交換の場となりましたら幸いです。</p>

タイトル	整形外科疾患講習会：観血的療法の基礎知識とリハビリテーション
内容	<p>臨床で非常によく遭遇する疾患の一つに、脊柱・膝の整形外科疾患があります。今回は、それら疾患の病態、手術の適応と術式や実際の膝・脊柱の病変、その後の運動療法などスライドを使用して、講義をして頂きます。これらは臨床場面で多く遭遇する疾患ですが、その病態から手術の適応まで深く勉強する機会は少ないと思い企画しました。日頃、現場で困っている方、改めて知識を整理したいと考えている方に最適です。</p>

タイトル	呼吸リハビリテーション入門
内容	呼吸リハ対象疾患の病態(COPD・気管支喘息・間質性肺炎・気管支拡張症・肺結核後遺症)、呼吸リハ実技演習

タイトル	コメディカルのための血液データの読み方
内容	血液データの生理・病態・データの意味理解

タイトル	シリーズ 在宅生活講座 テーマ:身につけよう! 在宅生活支
内容	在宅生活支援に携わる様々な職種からの講義 1回目:薬剤管理,歯科学的管理 2回目:在宅医療・看護・リハビリテーション 3回目:呼吸器疾患の管理とリハビリテーション 4回目:音楽療法を楽しむ 5回目:言語障害・痴呆・家族のメンタルケア 6回目:慢性疾患患者と高齢者の健康に関して 援

タイトル	摂食・嚥下講習会
内容	摂食・嚥下障害の基礎知識、最近の知見、嚥下障害の手技の獲得

タイトル	摂食・嚥下講習会
内容	摂食・嚥下講習会

タイトル	リフレクソロジー講座 受講生募集のご案内
内容	<p>今、注目のリフレクソロジーを学ぼう!!  リフレクソロジーとは足裏にある反射区を刺激することにより、血行を促進させ、新陳代謝や自然治癒力を高める健康法のひとつです。医療や福祉の現場でのサービスの向上に、ご家族やご自分の健康づくりに役立ちます。またサロン勤務など活躍の場が広がります。</p>

タイトル	Health development Studio 陽-氣 プレオープンイベント
内容	<p>講義 「転倒予防について」・・・どうして転ぶのか、転ぶとどうなってしまうのか。  おたっしや検診(18の質問項目と3の体力測定からお身体の状態がわかります。)  体験 陽-氣でできることを体験していただきます。</p>

タイトル	転倒予防教室「元気にいこ舞教室」
内容	<p>楽しみながら体を動かして、気がつけば転びにくい体のできあがり  全12回コース 水曜日の午後1時から3時ごろまで  第1期日程  第1回 4月13日 体力測定 第2回 4月20日 ストレッチ・チェアエクササイズ  第3回 4月27日 ミニ講座 バルーンエクササイズ 第4回 5月4日 栄養講座 バランス  レーニング  第5回 5月11日 ミニ講座 ウォーキング 第6回 5月18日 アクアエクササイズ  第7回 5月25日 茶話会 リズムバルーンエクササイズ 第8回 6月1日 スリングエクサ  サイズ 初級編 第9回 6月8日 栄養講座 スリングエクササイズ 中級編 第10回 6月15日  口腔ケア講座 スリングエクササイズ 上級編 第11回 6月22日 体力測定 第12回 6月29日  茶話会 体力測定個別フィードバック *おうちでできるおみやげエクササイズもあります。内容</p>

タイトル	健康増進講習会 元気にならまい会
内容	<p>年をとることによってどんな変化がおきるのか。転倒予防・痴呆予防の必要性</p>

タイトル	Lovin' Foot Club
内容	足の機能について、歩くこと・足そして靴、足裏・爪のトラブルについて

タイトル	嚥下障害と食事
内容	食べられない原因と簡単な解決方法、食べられる食事の工夫

タイトル	平成25年度(株)ジェネラス 会社説明会
内容	<p>13:00～13:10 はじめに</p> <p>13:10～13:30 介護業界の現状と自社の展開</p> <p>13:30～14:20 職種別の説明(各事業所職員からの体験報告含む) 具体的な勤務内容や処遇について</p> <p>休憩</p> <p>14:30～15:00 個別質問対応</p>

タイトル	日本理学療法士協会 職能局 業務推進部 主催 平成24年度 起業支援セミナー合宿
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基調講演「経営の基本的理解と日本理学療法士協会が求めるもの」 植松光俊(日本理学療法士協会 理事・職能局局长)</li> <li>2. 「経営の落とし穴」 山根一人(株式会社アールケア 代表取締役)</li> <li>3. 「起業者～事業計画とその実行方法～」司会: 小山樹(株式会社ジェネラス 代表取締役) パネリスト 阿部勉 (植草学園大学保健医療学部 専任講師) 張本浩平(合同会社gene 代表) 露木昭彰(有限会社足柄リハビリテーションサービス 代表取締役)</li> <li>5. 「理学療法士が行う経営とは何なのか？」 松井一人(有限会社ほっとリハビリシステムズ 代表取締役)</li> <li>6. 「長期に安定することのできる通所サービス」 小山樹(株式会社ジェネラス 代表取締役) グループワーク「事業計画立案」</li> </ol>

タイトル	日本理学療法士協会 職能局 業務推進部 主催 東京都理学療法士会 後援 「起業促進セミナー」
内容	<p>1. 起業促進・支援セミナーの開催までの経緯、実績報告 植松光俊先生(日本理学療法士協会 職能局局長)</p> <p>2. 理学療法士起業の実際: 理学療法士の起業に絶対に必要な基礎知識 ～起業までの流れ、起業に伴うリスクとは?～ 阿部勉先生(植草学園大学保健医療学部 専任講師)</p> <p>3. 起業理学療法士の心構え: 理学療法士が起業する意義 ～法令順守を軸にした理学療法士の起業モデルとは?～ 小山樹先生(株式会社ジェネラス 代表取締役)</p> <p>4. 起業・開設の事例: 訪問事業開設の事例 ～開設するまでの取り組み、開設してからの実績と取り組み～ 小幡匡史先生(合同会社 think body japan 代表)</p> <p>5. 起業後の事業展開の事例: 起業後どのような事業展開が考えられるか? ～実際の事業展開と今後の展望～ 松井一人先生(ほっとリハビリシステムズ 代表取締役)</p>

タイトル	
内容	

タイトル	
内容	

タイトル	
内容	